

■はじめに

本ドキュメントでは、AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダにおいて任意の間隔で画像を FTP サーバーへ送信するイベントの設定手順を説明します。

■設定手順

手順 1：AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダの設定ページにアクセスする

1. Web ブラウザを起動します。

※FW v6.50 以下の場合には Internet Explorer を、FW v7.10 以降の場合には Chrome をご利用ください。

2. Web ブラウザの URL 入力欄に、お使いの AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダの IP アドレスを入力して Enter キーを押します。

3. root ユーザーにてログインします。

手順 2：画像送信先サーバーを登録する

1. 「設定」 - 「システム」 - 「イベント」 ページを開き、「Recipients」タブで「Add」をクリックします。

※FW v6.50 以下の場合、「Setup」 - 「Events」 - 「Recipients」。

2. 画像送信先の FTP サーバーに関する情報を登録します。

Name

FTP サーバーの名前を任意で設定します。

Type

FTP を選択します。

Network address

画像送信先 FTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を指定します。

※FTP サーバーをホスト名で指定する場合は、「システム」 - 「TCP/IP」の「プライマリ DNS サーバー」と「セカンダリ DNS サーバー」に、AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダが参照できる DNS サーバーの IP アドレスを設定してください。DNS サーバーの IP アドレスが不明な場合、同一ネットワークにある PC で、コマンドプロンプトから「ipconfig /all」というコマンドを実行すると確認できます。

(FW v6.50 以下の場合、「System Options」 - 「Network」 - 「TCP/IP」 - 「Advanced」)

Upload path

ファイル送信先ディレクトリのパスを指定します。ホームディレクトリに画像を送信する場合は空白のまま、サブディレクトリに画像を送信する場合はディレクトリ名を指定します。さらに下位のディレクトリを指定する場合は「¥」マークを利用します。

例) ホームディレクトリ以下の「camera1」ディレクトリに、「event」というフォルダを作成して、そこに画像を保存する場合は、「camera1¥event」と記述します。

任意の間隔での FTP 画像送信イベントの設定方法

Port number

FTP サーバーの接続ポート番号を指定します。

※FTP サーバー管理者より特に指定がなければ変更は不要です。

User name

FTP サーバーへログインする為のユーザー名を指定します。

Password

FTP サーバーへログインする為のパスワードを指定します。

Use passive mode

FTP サーバーへの接続にパッシブモードを利用する必要がある場合はチェックします。

Use temporary mode

テンポラリモード利用時にはチェックします。

Test

設定した内容で FTP サーバーへの接続が可能か送信テストします。

Recipient Setup

Name: FTPサーバー

Type: FTP

Network address: FTPサーバーのホストまたはIPアドレスを入力

Upload path: ファイル送信ディレクトリパスを指定

Port number: 21 FTPサーバーのポート番号

Login Credentials

User name: Guest FTP ログインユーザー名

Password: FTP ログインパスワード

Advanced Settings

Use passive mode

Use temporary mode

Test

Test the connection to the specified FTP server

設定内容での送信テスト

全ての設定が完了したら「OK」を押下し、保存します。

手順 3 : 送信間隔を設定する

1. 「イベント」 - 「Recurrence」 タブで「Add」をクリックします。

※FW v6.50 以下の場合、「Event」 - 「Recurrence」。

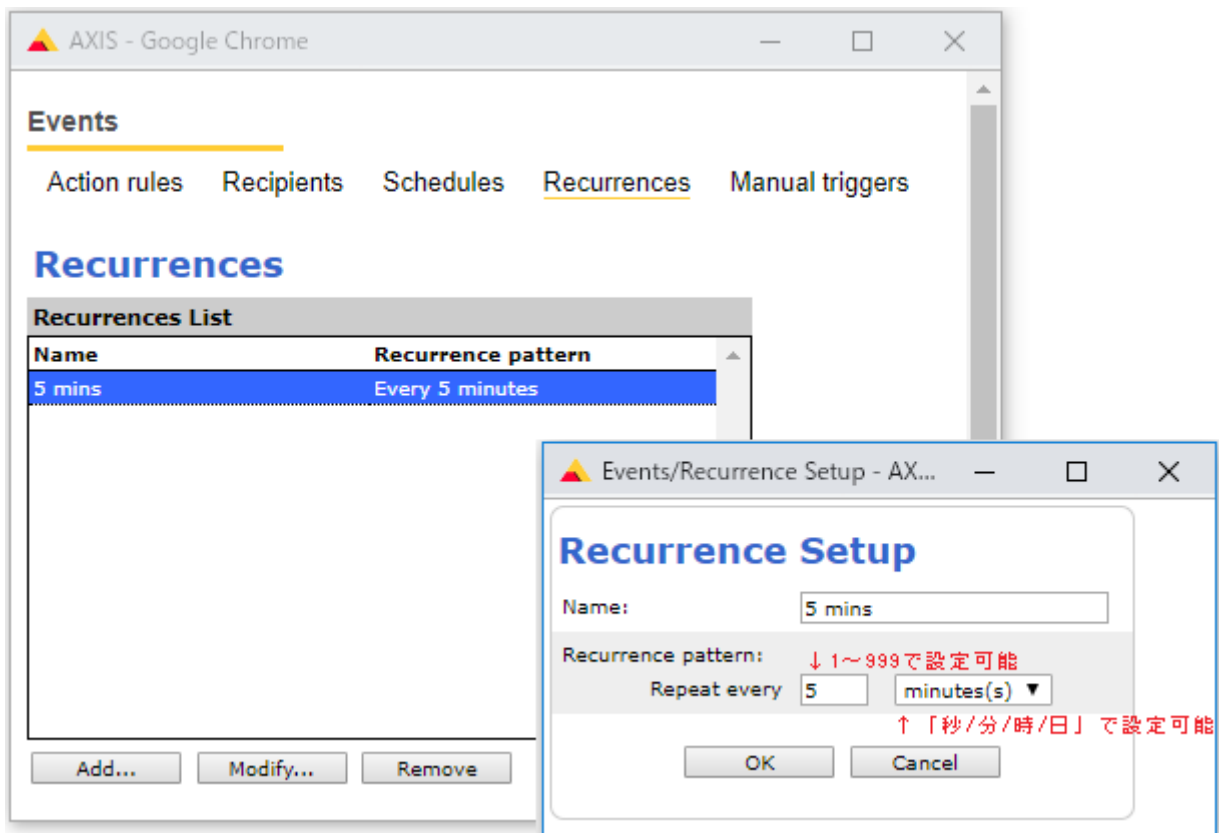
2. 任意の画像送信間隔を登録します。

Name

送信間隔の名前を任意で設定します。

Recurrence pattern

「Repeat every」には、1~999 間での数値で「Day/Hour/Minute/Second」のいずれかを選択できます。



全ての設定が完了したら「OK」を押下し、保存します。

手順 4： イベントを設定する

1. 「イベント」 - 「Action Rules」 タブで「Add」をクリックします。

※FW v6.50 以下の場合、「Event」 - 「Action Rules」。

2. 「Action Rule Setup」 ウィンドウで、実行するイベントをルールとして設定します。

Enable rule

このルールを有効にするにはチェックを入れます。

Name

ルールの名前を任意で設定します。

Trigger

トリガー種類にて「Time」、「Recurrence」を選択し、手順 3 で作成した送信間隔（Recurrence 名）を選択します。

Start condition only

実行中イベントのアクションが完了するまで再び発生するトリガーを無視する場合はチェックを入れます。

※アクションの撮影継続時間（Duration）設定にて、Pre または Post Trigger を選択した場合のみ設定が可能です。

Schedule

イベントを有効にさせたい時間帯（スケジュール）を選択します。

24 時間 365 日連続してイベントを実行する場合：「Always (No Schedule)」を選択します。

スケジュールを利用する場合：「New Schedule」にてスケジュールを作成します。

Additional conditions

トリガー条件を追加したい場合に「Add」をクリックして、トリガー条件を追加します。

Wait at least (任意の時間) before re-running the rule (max 23:59:59)

イベントを実行した後、再びトリガーを受け付けるまでに待ち時間を設ける場合に時間を設定します。

Type

実行するイベントの種類です。

FTP サーバーへ画像を送信する「Send Image」を選択します。

Stream Profile

送信する画像の設定をストリームプロファイルから選択します。

カメラのデフォルトの画像設定を利用する場合、こちらは設定不要です。

ストリームプロファイルは、「イベント」 - 「Stream Profile」タブにて設定できます。（※FW v6.50 以下の場合、「Video & Audio」 - 「Stream Profile」）

Image Frequency

フレームレートの目標値を設定します。(単位：秒 / 分 / 時間)

※ご使用状況によっては送信結果が指定したフレームレートに満たない場合があります。また、FTP サーバーから応答が得られない場合、その間の画像は失われます。

Duration

撮影継続時間を以下のいずれかから選択します。(複数選択も可能)

- ・ Pre-trigger time x seconds : イベントが起動する直前の画像を撮影します。(単位：秒)
- ・ While the rule is active : スケジュールやトリガー入力アクティブな間だけ撮影します。
- ・ Post-trigger time x seconds : イベントを起動してから画像を撮影します。(単位：秒)

Limit

Send only the first xx image : 撮影が開始されてから最初の xx 枚の画像だけを送信します。

Recipient

手順 2 で設定した送信先の FTP サーバーをリストから選択します。

Create Folder

ファイル送信時にフォルダを作成する場合、フォルダ名を設定します。

引数を利用して日付や時刻をフォルダ名として設定することもできます。

詳しくは画面下の「See help for more information」リンクをクリックしてください。

Base file name

ベースとなる画像ファイル名を任意で指定します。

- ・ Add date/time suffix
→画像ファイル名に、日付と時刻を付加する場合に選択します。
- ・ Add sequence number suffix (no maximum value)
→画像ファイル名に、連番を付加する場合に選択します。(数の上限無し)
- ・ Add sequence number suffix up to
→画像ファイル名に、数の上限を設けて連番を付加する場合に選択し、上限値を設定します。
- ・ Overwrite/Use own file format
→画像ファイルを常に同名で上書きします。

Action Rule Setup

General

Enable rule イベントを有効にする際にチェック

Name: イベントの名称

Condition

Trigger: トリガー (Timeを選択) Start condition only
 トリガー条件 (Recurrence) を選択
 作成した送信間隔を選択

Schedule:

Additional conditions

Wait at least before re-running the rule (max 23:59:59)

Actions

Type: アクションの種類 (Send Imageを選択)

Stream profile: ストリームプロファイル

Image frequency: frame(s) per フレームレート (秒/分/時)

Duration: Pre-trigger time second(s)
 While the rule is active 撮影継続時間
 Post-trigger time second(s)

Limit: Send only the first images 送信枚数上限設定

Recipient: 送信先サーバーを選択

*Create folder:

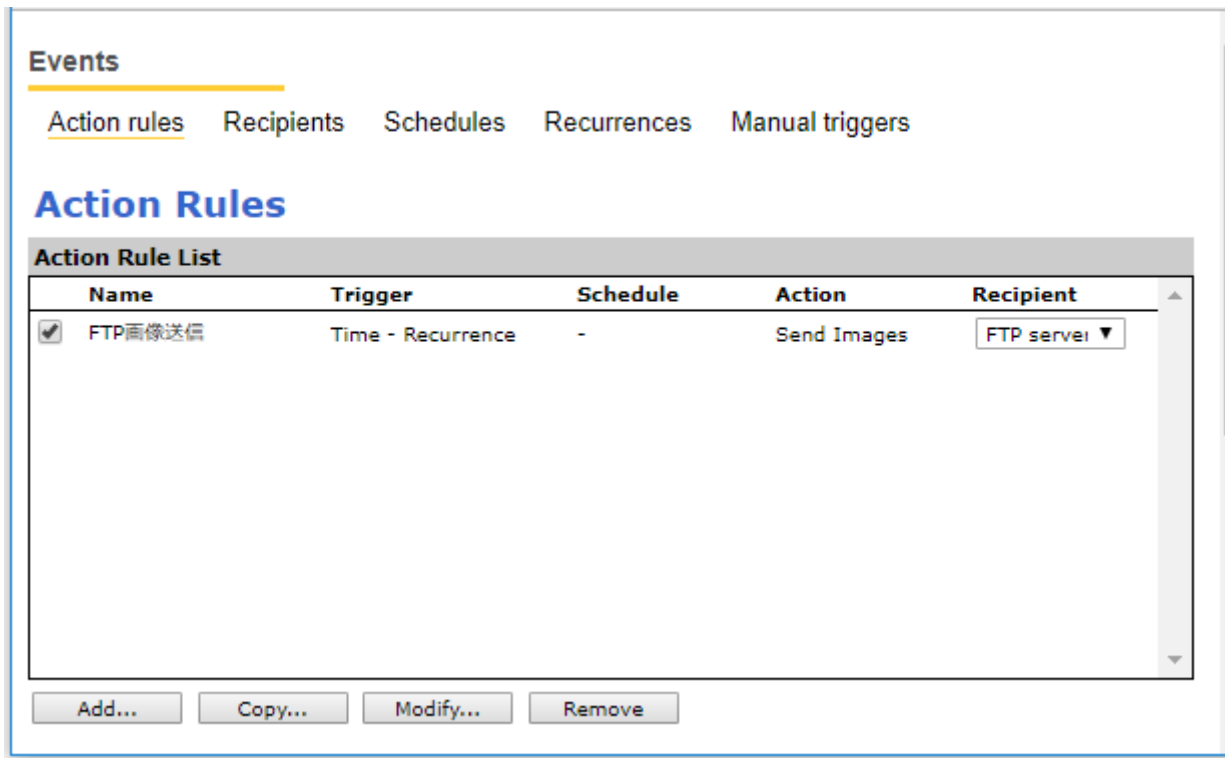
*Base file name: 画像ファイル名

Add date/time suffix ファイル名に付加する文字列
 Add sequence number suffix (no maximum value)
 Add sequence number suffix up to and then start over
 Overwrite/Use own file format.

[*See help for more information](#)

全ての設定が完了したら「OK」を押下し、保存します。

登録したイベントは一覧に表示されます。イベントの有効/無効はチェックボックスで行えます。



The screenshot shows a web interface for configuring events. At the top, there's a navigation menu with 'Action rules', 'Recipients', 'Schedules', 'Recurrences', and 'Manual triggers'. Below this is the 'Action Rules' section, which contains an 'Action Rule List' table. The table has five columns: Name, Trigger, Schedule, Action, and Recipient. One rule is listed: 'FTP画像送信' (FTP Image Transfer) with a checked checkbox, 'Time - Recurrence' as the trigger, '-' as the schedule, 'Send Images' as the action, and 'FTP server' as the recipient. Below the table are four buttons: 'Add...', 'Copy...', 'Modify...', and 'Remove'.

Name	Trigger	Schedule	Action	Recipient
<input checked="" type="checkbox"/> FTP画像送信	Time - Recurrence	-	Send Images	FTP server ▼

以上。